

2014 通訳ガイド・新人実務研修会

2014/3/

8, 9, 14, 15, 16

今年も 3 月 8 日より、新人実務研修(関東編)が開催されました。2020 年の東京オリンピック開催も決まり、昨年来、海外からの旅行者数も回復基調。通訳案内士合格者数も増え、今回の研修受講者はなんと 66 名。4 月にはさらに 40 名を超える同研修が予定されており、初日から熱気溢れるスタートとなりました。

ツアービジネスの基本知識から空港・ホテル間のトランスファー、主要観光地の講義、異文化コミュニケーション、国際接客マナーまで、各講師から休憩時間を惜しんでの集中講義。午後は GICSS 研修の特徴でもある小クラスでの参加型ワークショップ。緊張して最初はなかなかスムーズに発表できない中、講師から適切なアドバイスを受け、昨日より今日、スキルアップしていく自分自身を再確認。と同時に、2 分間で話をまとめる難しさ、話せるトピックスを拡げていく重要性を例年受講生は痛感されます。

座学の総まとめは、都内&成田空港の 1 日バス現場実習へと続きます。多岐にわたる非常に中身の濃い研修で大変だったと思いますが、この経験は、通訳ガイドのプロとして一步を踏み出す際、間違いなくみなさんの盤石な基礎となることでしょう。

「通訳ガイドはエンターテイナーであれ」と英語で炭坑節を踊った、様々なバックグラウンドを持つ仲間とともに、日々自己研鑽に励み、日本ファンを更に増やすべくこれから一緒に頑張っていきましょう。個性、才能溢れるみなさまと、スタッフとして同席させていただく機会に恵まれ、私も大いに刺激をいただいた、春の新人実務研修でした。

講師、スタッフ、受講生の皆様、大変お疲れ様でした。

アンケート抜粋

(スタッフ: 内藤里子/レポート: 北川朝野)

午後の WORK SHOP の具体的なアドバイスが良かった (Y.M.) 話すことが用意してあると、自身を持って話せるので準備の大切さを実感しました。(T.O.) ロールプレイ演習があり、緊張しましたが良い経験になりました。一つ一つの内容が充実していて特に日光のガイドングのデモは素晴らしかったです。(S.K.) 握手の仕方を教えて頂いたのはとても幸運でした。(M.S.) ガイド試験と実際のツアーガイドの差を痛感しました。(R.M.) もっと笑顔ができるよう表情筋を鍛えます (R.S.) アドバイス頂いたことを活かして目標とするガイドングができるようになりたい (A.S.)



北野天満宮スポット研修

2014/2/2

福井道(ミッキー)先生のご指導のもと、京都市にある北野天満宮を訪ね、スポット研修を受けました。よく知られているとおり菅原道真を祀っていて、学業成就と雪冤を願う人々の信仰の拠り所の神社です。

雪冤とは、自分の無実を証明することを意味します。菅原道真は、宇多天皇(59 代天皇)につづく醍醐天皇(60 代天皇)のときに右大臣を務めましたが、藤原家に不利な政治をしたとして左大臣の藤原時平により九州の大宰府に左遷されます。その怨霊を慰めるために建立されたのが北野天満宮。ミッキー先生の模範ガイドでは、北野天満宮内部に置かれた牛の像の多くがなぜ寝て伏しているのか、ということについて説明がありました。亡くなった菅原道真の遺骸を遺言どおり牛に引かせていた際、途中で動かなくなり、近くの安楽寺(後の大宰府天満宮)に埋葬したという故事に由来するそうです。例外として、本堂の正面鈴の上で立とうとしている牛の像は北野天満宮の七不思議のひとつとなっています。

ミッキー先生は、神道とは、「なにもない信仰」であると説明されました。書かれた經典(戒律)がなく、創始者に該当する人物(創造主)もいません。それで、「神とともにあること」(神と共存して歩む)を意味する神道と呼ばれるようになったとのこと。全国には 86,000 の神社があるので、1500 人に一つの神社が存在することになります。神道を信じる人と仏教徒の日本人の合計は日本の人口を超えてしましますが、日本における宗教分布の実態を表していてとても興味深いことであると指摘されました。外国人と話す際に、天皇の在位が何代目であることを示したり、特に関心を引く事情を選んで話したりすることの重要性も強調されました。

京都は、舞妓、芸子が観光資源に花を添えています。この研修でも上七軒歌舞練場を巡り、舞台装置などに関する説明を受けました。貴重な学びの場となった研修でした。

(レポート: 山田展之)



研修名・日程・会場等	内 容
インバウンド旅程管理研修 <東京> 4月6日(日) 19:00～20:30 費用:9,720円(会員) 16,200円(一般) 場所:こどもの城(東京)	GICSSの長年の現場経験を踏まえて、訪日外国人をガイドする際に必要な旅程管理のすべてのスキルを独自に編成したプログラムです。ガイドの現場では、前日のバス配車確認や団体券の取り扱い方、当日のレストランへの到着時間の連絡やメニューの確認、突然の食事制限の連絡の仕方は？相手に迷惑でない時間帯は？など、ガイド試験では全く触れていない“旅程管理”のスキルが今、求められています。これができるかどうかでガイドの評価が決まると言っても過言ではありません。見よう見まねでなんとか乗り切れるかと不安に思っている新人ガイドの皆さん、本研修で現場添乗業務を学びましょう。また、本研修は旅程管理主任者資格基礎研修に充当されます。
2014年新人実務研修会 <東京> <大阪> <東京> 4月12,13,19,20日(土)(日) 場所:国立リハビリテーション青少年総合センター他 <大阪> 5月3日(土)～6日(火) 場所:とよなか男女参画推進センター・ドーンセンタ	3月の実務研修に加えて、追加増設となった4月コース(東京)および恒例の5月関西編新人実務研修会です。20年以上の新人研修のノウハウを生かした座学、小クラス実習、現場研修と多彩、かつ現場で通用する実力の基礎が学べるまととないGICSSの基本研修です。新人はもちろん、最新情報やスキルを学びたいリピーターやブランク後のデビューを目指す方も歓迎です。定評ある研修をぜひ体験してください。
日光バス実習研修 <東京> 4月24日(木) 費用:17,280円(通訳ガイド研修) 19,440円(旅程管理主任者資格取得兼用コース)	世界遺産の日光地区の主要観光スポットのガイディングポイントを学びます。車中ではベテランガイドのモデルデモを満喫、旅程管理主任者資格取得のための現場実務実習も兼ねるので、専門講師によるインバウンド添乗実務のシミュレーション実習も含みます。東照宮の陽明門など修理中の建物もありますが、東京から日帰りができる日光地区のガイドスキルは必至です。この機会を逃さずにご参加ください。
インバウンド旅程管理研修初受講 5月スタート予定、費用:9,720円(会員)	上記4/6(日)のインバウンド旅程管理研修に参加できない方向けのネット受講研修。ご自宅でご都合に合わせて何度でも受講可能。講師との電話等によるフォローアップにて旅程管理主任者資格基礎研修に充当も可能です。
鎌倉・箱根バス実習研修 <東京> 6月1日(日) 、費用:17,280円(通訳ガイド研修) 19,440円(旅程管理主任者資格取得兼用コース)	東京の訪日観光客が高い確率で訪れる人気スポット、鎌倉・箱根のバス実習研修です。車中ではベテランガイドのモデルデモを満喫、旅程管理主任者資格取得のための現場実務実習も兼ねるので、専門講師によるインバウンド添乗実務のシミュレーション実習も含みます。ぜひ、ご参加ください。
現場C.Cまち歩き下見実習 <京都> 6月予定(宇治平等院)	ナビゲーターやガイド仲間と一緒に宇治平等院の下見しながらガイディングの練習を行います。下見をする際に気をつけるべき点、トイレの場所は？ 迷子が出やすい場所は？等々、皆でチェックをします。そして宇治平等院の魅力を再発見しましょう。(4月3日より鳳凰堂内部が拝観できます)
★7月に予定されている研修等 ①夏の新人歓迎懇親会(関東&関西) ②DVD受講コース・スクーリング	
★特別企画★GICSS設立10周年記念シンポジウム(仮称)2014年8月23日(土) ◆企画スタッフ募集しています。事務局へ。	

GICSS 会員がつなく、リレーエッセイ

⇒ 1) 作文 (28)

会員の皆様、こんにちは！



ガイドとしてはウオーキングツアーの仕事をいただき、大学勤務の合間に奈良・京都のそれぞれ半日ツアーをしております。既に決められたコースを回りますので、奈良められたコース寺・興福寺、京都は清水寺・高台寺から祇園と定番の場所を訪れています。ガイド初心者向けの仕事ですが、少人数の参加者を応対することが多く、知り合いと一緒に歩くようにお客様とお話しすることができま。事前に日本の歴史を勉強して来られたという方が奈良に都があったことをご存じになかったなど、日本にそれほど詳しくない方が多いので素朴な質問をされ、返って返答に困ることがあります。

普段は非常勤で大学附属の防災研究所で主に研究費の管理事務をしております。担当部門では気象に関する台風・竜巻・洪水・土砂災害等、昨今何かと気になる事象について研究さされていきます。先生方は災害が起こると躊躇々として調査に出かけますが、それでも対策は進み、以前に比べれば格段に被害は減少しているようです。

前号の田畑明子さん、そして前々号の中山浩恵さんとは研修を通じてお会いし、爾来いろいろな研鑽の場にお誘いいただきとともに、お二人から多くのことを学ばせていただいたております。私はここに投稿なさっている方々ほど経験も積んでおりませんし、ご披露できるようなエピソードもございませんが、ご指名いただいたものも何かの縁と思い、お引き受けしました。

三浦晴美
この号が皆様のお手元に届くころには春の観光シーズン真っ盛りのことと存じます。



大学の仕事は期限付きで、残るところ二年となっています。今は前にしたデスクワークを主としながらもガイド業も少しずつで、私としてはバランスが取れています。人前で話すことが実は大の苦手ですが、毎回とても緊張します。が、幸いお客様に恵まれ楽しんで仕事が出来ます。GUSで知らず知らずにも引き続き参加しながら知識を深め、次のステップに向けて努力していきたいと思っております。で、今後ともよろしく願っています。

家人には同じところばかりで飽きるのではと言われますが、お客様は異なつた目で小さな子供のようにいろいろ見つけてきます。何度も来ていろいろのだからその場所はよく分かつていると思つていても、そんな質問を受ける度に実際は早返して見えないものばかりだと気付かされます。これがガイダの魅力かなと思う一方、私が説明したことがイコールその方の「日本」になつてしまふかと思うと責任も感じます。



第9期 年次総会&関東新年懇親会 2014/1/26

入会の際、事務局の熱田さん、内藤さんとお話の中で、とてもアット・ホームな雰囲気を感じましたので、どきどきしながらも思い切って、参加させて頂きました。多士済々の集まりで、時には講師になり、時には受講者になる等、個性と和を大切にすることでお互いが切磋琢磨されているGICSSの様子が良く分かりました。

ランデル先生、松岡先生から、職業倫理の再認識、おもてなしのころをご指導頂きましたので、忘れないように致します。また、30秒の制限時間オーバーに気付かずに自己紹介を続け、反省です。中山さんのスペースを有効に使う軽い身のこなし、テンポ良く簡潔に話すトークが、良いお手本になりました。MC担当の打木麻美さん、福田誠さん、楽しい会をありがとうございました。(レポート:宮川賢治)



関西新年懇親会

2014/2/2

私が楽しみにしている年に1度の多くの会員の方と顔を合わせる機会！今年も、りんごさんとみかんさん(中山、池内両氏)の司会で進行しました。

まずは、ランデル先生のオリンピックイヤーに向けての希望あるお話。そして乾杯、恒例の30秒自己紹介のあと、松岡先生によるGICSSの1年の振り返り。そしてミニコンサート！めったに経験できないギターとベースの生伴奏で、ジャズあり、英語の歌あり、中国語で歌うテレサ・テンの曲あり、ギター演奏ありと盛りだくさん！最後は全員でWe are the worldを歌い、参加者がひとつになり、GICSSファミリーの実りある1年を予感させる締めくくりとなりました。いつも趣向を凝らして準備をしてくださる皆さん、ありがとうございました。(レポート:森岡佳子)



バーチャル研修・東京その1 2014/1/18

上野の東京文化会館で行われた本研修に参加しました。「クラシック音楽の殿堂」とも呼ばれる重厚な建物に足を踏み入れるのは初めてで、期待と緊張が高まります。GICSS スタッフの笑顔に迎えられて会議室へ。初企画「バーチャル研修」の始まりです。車から撮影された映像がスクリーンに映し出されると、まるでバスの車窓から眺めているような臨場感です。

その映像に合わせて、1回目は、ランデル・松岡両先生の日本語解説がありました。バスは、新宿京王プラザホテルをスタート。最初の信号でお客様が忘れ物に気づいた想定、仕方ありませんね。都庁を一周してホテルに戻り、明治神宮を目指して再スタートです。たまたま渋滞もなく車は首都高速に沿って走ります。国立オリンピック記念青少年総合センターや代々木公園を通り過ぎると、代々木第二体育館が見えてきます。コスプレで有名な神宮橋を渡ると明治神宮。バスを止めて、ガイドも一緒に守衛さんにご挨拶。明治神宮は、明治天皇と昭憲皇后をお祀りした神社。創建時植えられた120万本の献木は、今では自然林と見紛うばかりに成長し、都心の貴重な緑地となっている、などなど…。都知事の辞職と選挙、2020年東京オリンピック開催などの旬の話題を盛り込んだ、軽妙な掛け合いトークに緊張も徐々にほぐれてきました。

そして2回目はいよいよ両先生の英語によるモデルガイディングです。ジョークを交え流れるようなガイディングに聞き惚れていると8分間はあっという間です。休憩後は、参加者でペアをつかって練習です。参加者の中から何名かが前に出て、ガイディングに挑戦。私もさせて頂きましたが、緊張で声が上ずってしどろもろに…。車窓に合わせて話すことの難しさを実感しました。本研修は、座学ながら実践のバス内ガイドの学べる新手法の研修でした。引き続き他の場所のバーチャル研修もあるとのこと、楽しみにしております。(熱田裕里子/レポート:秋元裕美子)



【アンケート抜粋】

- 実際の乗物ベースで図等が移り変わるので、事前に下調べが重要であることを実感した。(S.H)
- 映像と先生方解の解説。さらに受講者のモデルガイドまで入っていてとても実践的な研修でした。(A.F)
- スクリーンを見ながらいきなりはなかなか大変でしたが、力試しのようでワクワクしました。(Y.J)
- 実際のバス研修より教室にいと落ち着いて学習できると思います。(Y.A)
- 大変濃い充実した内容で時間が経つのがあっという間でした。(R.Y)
- 言葉の選択をどうするか、不用意な言葉避ける。完全なセンテンスで終わることを肝に銘じようと思いました。(M.T)
- 東京の山手線を京都や大阪に置き換えて比較したことが印象に残りました(M.F)

【一口メモ】

○東京都は現在人口 1323 万人。南北に短いけど東西は長くて 90km 以上。(○東京の山手線と大阪の環状線はどちらも中心地に位置して主要な駅を結んでいる。(山手線 34km29 駅に対し、環状線は 21km19 駅と規模は違うが、皇居と大阪城は位置的に似ているのは面白い)



三十三間堂での無料ガイドデーに参加いたしました。午前か午後または両方と選べましたが、私は全日参加させていただきました。

冷え込み厳しく曇り空のもと、午前組7人が集合しました。ブリーフィングのあとまずはミッキー先生のデモガイドから。ルールに厳しい三十三間堂では特に、お客様に写真撮影等の禁止事項厳守を徹底することから始まり、巧みな誘導と話術、ガイドのポイントを的確に教えて戴きました。陽も射し始めて絶好の日和となり、観光客の出足もまずまず。ミッキー先生が率先して声をかけてくださったので、ほどなく皆お客さんが見つかりました。午後の参加者は8人で、また先生のデモガイドから始まりました。英語に加え仏語、伊語のガイドが参加しましたが、幸い皆なんとかお客さんを得ることが出来ました。続けて何回も同じ場所をガイドし、間をはさんでお手本ガイドが二回見られるという、貴重な研修は他では経験できない収穫があったと思います。

ミッキー先生、素晴らしい研修の機会をくださったGICSSに心から感謝いたします。

(スタッフ：池内岳人／レポーター：坂口麻有里)



大雪の翌日ということもあり、観光客は例年通りいらっしゃるのか、足元は大丈夫？と心配しておりましたが、リーダーの一宮さん、ナビゲーターの城塚さんが前日に神宮まで足を運び、状況を調べ、注意事項をメールにてお知らせされたので安心して神宮まで出向くことができました。

ここ数年ずっと無料ガイドデー研修に参加しています。ナビゲーターのガイドデモに魅了された後に実際に自分でお客様への声かけから行うガイドは、拙いガイドでもお客様に喜んで頂けるのが醍醐味です。いつも心の中で「ああ、この場面で気の利いたガイドができないかな、何て表現したらいいんだろう・・・」と思うことが多く、ナビゲーターのガイドにはまだほど遠いですが、お客様から“Thank you.”と言われると「よし、次はさっきの失敗を生かしてがんばろう。」とやる気が出てきて頑張れるのです。いつかは素敵な、自分でも満足できるガイドができたらいいなと思っています。

雪化粧をした明治神宮は森の木々の枝があちこち雪の重みで折れ痛々しい様子もありました。雪道のため除雪した細い花道のような道を観光客の方は列になって歩いていたので、お客様への声かけは逆にやりやすかったです。いつものように最初はガイドオフアを何度も断られました。そのうち、オーストラリアからの学生3人組の方をご案内することができました。とても熱心に真剣に聞いて下さり質問や雑談も楽しみながら1時間を超えてしまいました。私自身も神宮で清められたような気がしたガイドデーでした。このような研修をご準備くださったスタッフの方々、一宮様、城塚様、本当にありがとうございました。

(スタッフ：一宮裕／レポーター：佐藤知美)

DVD 受講コース・スクーリング

2014/1/16&30

スクーリング初日は松岡先生とランデル先生の授業を生徒わずか2名で受講という、信じられないような豪華で贅沢な時間でした。たった2名でしたので発表の順番が驚くほど速く、文字通り「手に汗握る」1日でした…。

課題の準備をしてはいていたものの、自分で練習をすることと実際に人前で発表することはまるで違い、声のトーン、表情、英語のクセ、そのネタを話すタイミング、など、様々な角度から直接ご指導いただくことができ、大変勉強になりました。

2日目は、芹田先生による都内観光スポットの現地ご指導です。芹田先生の流れるようなガイディングに感動したことはもちろんですが、歴史や事実を語るガイディングだけが全てではないことを併せて学び、お子様連れや学生さん等、相手に合わせたお話を！という点が大変印象に残っています。いろいろな体験談を伺えたことや、くだらない（であろうと思われる）質問にも丁寧にお答えいただき、とてもためになる1日になりました。

この先もずっと忘れられない経験となり、ご指摘を受ける度に自分の未熟さを思い知らされ恥ずかしい思いもたくさんいたしましたが、これが今の自分の実力、と知るいい機会になりました。(レポーター：八重樫礼子)

☆次回のリレーエッセイもお楽しみに！ ～会員の皆様のご活躍ぶりをご紹介下さい。

珍事件、感動秘話、ためになる話…なんでも結構です！ GICSS 事務局までお寄せ下さい。

＝編集後記＝ ●今回よりGICSS ニュースの編集を担当することになりました吉田英夫です。どうぞよろしく。ご承知のとおり2013年度通訳案内士試験(英語)は合格者数892人(合格率30.9%)と例年になく高い数字となり、ますます質の高いガイド通訳が求められる時代になってきました。関西では3/7 日本一高い阿倍野ハルカス(300m)がグラントオープン、4/3は約1年半の修理を終え平等院鳳凰堂内部が拝観可。今後増加する外国人旅行者にハイレベルなガイドができるよう頑張ります!! ●インバウンド業界が地球のマグマが動くように変化をしています。対政府、対顧客、対経済・価値観…じつと総合的にウォッチして皆様に適宜お知らせしたいと考えながら努力しています(よ)●

◆GICSS 研究会 賛助会員＆協力会社◆

株式会社 JTB グローバルマーケティング&トラベル
CEL 英語ソリューションズ
トップツアー株式会社
株式会社 千代田テクノ
協同組合 京都ハンディクラフトセンター
近畿日本ツーリスト株式会社